

令和7年度の取り組み実施状況

令和8年4月28日

南 城 市

1 令和7年度の取組項目と実施状況

●令和7年度の取組の実施状況は、下表に示すとおりであり、Nバス運賃支援事業、市内小学校におけるMM教育の推進、Nバス車内での乗降カメラの設置、公共交通計画の策定及び計画における観光二次交通や情報発信の強化に関する施策の検討など5つの区分ごとに概ね予定通りに取組が実施されています。

表-1.令和7年度の取組項目と実施状況

取組項目	実施状況
1. 公共交通利用促進策の実施	Nバス運賃支援事業や利用促進イベント、公共交通便りの発行、市内小学校におけるMM教育の推進を継続的に実施
2. 公共交通の改善策の検討	Nバスでの乗降カメラの導入、クレジットカードとのタッチ決済の導入、おでかけなんじいのサンエー八重瀬シティへの乗り入れを実施
3. 地域公共交通計画策定に向けた取り組み	令和8年1月に計画素案を作成、2月にパブリックコメントを実施、3月に計画策定。計画策定に向けて交通事業者との座談会や、市民・来訪者向けのオープンハウス、ワークショップを開催
4. 観光交通の充実に向けた検討	公共交通計画策定において、観光二次交通、情報発信に関する施策を検討
5. 交通空白解消に向けた検討	空港リムジンバスの実証運行を検討し、国土交通省の「『交通空白』解消等利リ・デザイン全面展開プロジェクト」に応募申請中。また、公共交通計画策定において、夜間の移動手段確保に関する施策を検討

2 取組の実施状況

2.1.区分1：公共交通利用促進策の実施

(1) N バス運賃支援事業

- 令和5年6月から令和8年3月までの2年10か月間にわたり、Nバス運賃支援事業を実施しました。令和7年度においては、65歳以上43,844人/年、障がい者13,122人/年の計56,966人/年の利用がありました。
- Nバス運賃支援事業の利用者数の推移をみると、障がい者は微増傾向で推移しているのに対し、高齢者の利用は令和5年6月の1,255人/月から令和8年3月には4,062人/月へと約3倍に増加しました。
- Nバス利用者に占める事業利用者の割合は、令和5年6月の14%から令和8年3月には27%へと13ポイント増加しました。

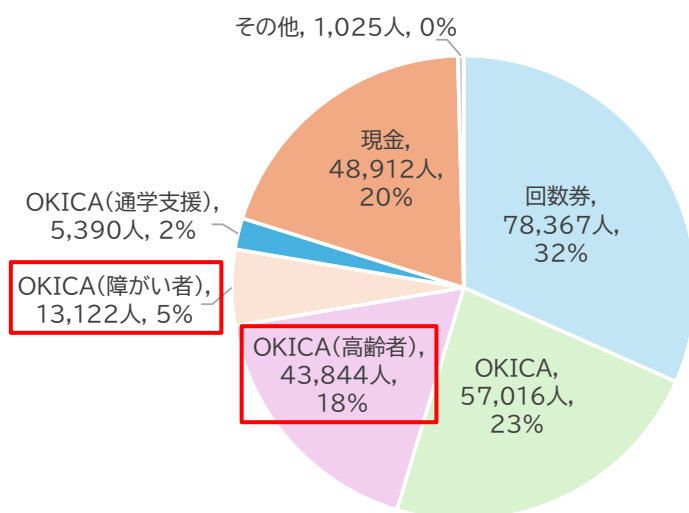


図-1. Nバスの運賃支払方法別の利用者の構成（令和7年度）

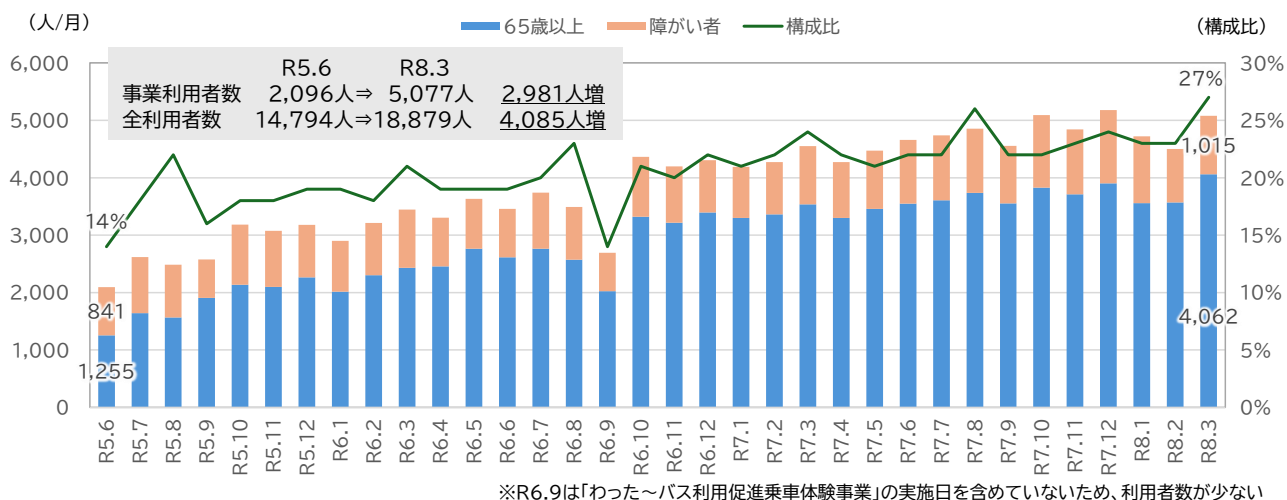


図-2. Nバス運賃支援事業利用者数の推移

(2) 利用促進イベントの実施

①夏休みだよ N バス祭り

- 令和7年8月10日(日)に、「ハートの日フェスタ」とあわせて「夏休みだよ N バス祭り」を開催しました。
- 「夏休みだよ! N バス祭り」では、「N バス展示」、「N バス乗車体験」、「N バスクイズ大会」、「ぬりえ+工作」を実施し、多くの方に参加していただきました。

夏休みだよ! N バス祭り 開催要項

日時：令和7年8月10日(日) 9:30~16:00 (※雨天決行、荒天中止)

場所：南城市役所

受付：N バス祭り総合案内(なんじい jr. 1 階)

N バス展示

N バスが庁舎広場に展示されるよ! 近くで N バスを見るチャンス!

車内乗車可能時間(①②③)には、運転席で写真撮影できるかも?!

時 間：9:30~16:00

①10:00~11:00 ②12:00~13:00 ③14:00~15:00

N バス乗車体験

※下記の QR コードより事前申し込みが必要です。

三線の弾き語りを楽しみながら、南城市の絶景を満喫!

ル ー ト：南城市役所~奥武島(※奥武島にて一時下車あり)

参加対象：どなたでも(大人の方は立ち乗りにある場合もあります)

参 加 費：無料

定 員：各回 25 名(保護者含む)

時 間：①10:00~11:00 ②14:00~15:00

出 演：Yamato Kono

※開始時間 5 分前までに総合案内にお越しください。



N バスクイズ大会

※下記の QR コードより事前申し込みが必要です。

N バスのなぞにせまる〇×クイズ! クイズに正解した人には賞品も! 当日参加も可能です♪

参加対象：どなたでも(定員制限なし)

時 間：①11:30~12:00 ②15:30~16:00

※開始時間までに 2 階ピロティにお越しください。

ぬりえ+工作

N バスぬりえや N バスのペパークラフト、缶バッジの作成まで!

時 間：9:30~16:00

申込期間：7 月 10 日(木) ~ 7 月 30 日(水)

- ▶ 乗車体験とクイズ大会の両方に申し込むことは可能ですが、それぞれ申し込みが必要です。
- ▶ 乗車体験は定員を超えた場合、抽選となります。
- ▶ 同じイベントの午前、午後の部の両方に申し込むことはお控えください。
- ▶ 8 月 2 日を目標に抽選結果をご連絡します。

＼申込はこちら／



お問合せ：南城市 企画部 交通政策課 / koutu@city.nanjo.lg.jp

図-3. 夏休みだよ N バス祭りの概要

②南城市まつり

- 令和7年11月16日（日）に開催された「南城市まつり」において、バス利用で豪華景品が当たる抽選会を実施しました。
- 今年度も20時からの花火大会後にNバスでの帰宅に対応するため、最終便以降の臨時便を運行しました。
- 南城市まつりの会場に交通政策課のブースを設置し、ブース内で缶バッジ作成やペーパークラフト、ぬりえ、クイズ、ガチャガチャなどを、また、会場内の道路でNバスとのつなひきを実施しました。



図-4.南城市まつりの実施概要



図-5. 南城市まつりの状況(左:交通政策課のブース、右:Nバスとのつなひき)

(3) 公共交通便りの発行

- 11 月にシェアサイクル開始、おでかけなんじクイズについて、3 月に N バスのバスロケーションシステム、N バス運賃支援事業終了について記載した公共交通便りを作成、発行しました。

南城市公共交通だより

シェアサイクルはじめました！

南城市では観光客や市民の移動を支える新たなモビリティとして、シェアサイクルの導入事業を開始しました。現在は南城市役所ステーションのみの設置ですが、順次市内のステーションを増やしていく予定です。

導入したシェアサイクルは電動自転車であり、各ステーションにて乗り捨てができるため、手軽で快適！近隣市町村(市役所、図書館、市立病院など)にもステーションがあるため、市外への移動にも使えて便利！この機会にレッツ、サイクリング！

利用開始の流れ

アプリを使って会員登録 → アプリで自転車を予約する → ロックを開錠して利用開始

設置状況

南城市役所ステーション

自転車ご利用料金

15分 ¥100 12時間 ¥1,800

注意事項 ①

南城市役所からサイクリング

注意事項 ②

南城市役所からサイクリング

パーク＆サイクルのご案内：南城市公共駐車場(南夜所横)は、100円/24hで駐車可能です。

知っていますか？予約制 乗り合いタクシー

「おでかけなんじ」をもっと知ろう！なんじクイズ

Q1 一番よく使われている乗降場所はどこ？

答え B. イオンタウン南城大里

Q2 一番多く利用しているのはどの世代？

答え C. 80代

Q3 一番利用が多いのは何時の便？

答え A. 午前10時台

使い方はカンタン！

STEP 1 電話で予約
STEP 2 予約の場所で待つ

料金表

便	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
交付センター	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	17:30
平日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
土日祝	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(2023. 春) 発行：南城市役所 企画部 交通政策課 TEL 098-917-5386

N南城市Nバス バス予報

バスロケーションシステム

1 ちかくのバス停 ちかくのバス停がわかる

2 地図からさがす 地図からさがす

3 バス停からさがす バス停からさがす

4 路線からさがす 路線からさがす

5 検索りれ 検索りれ

1 超簡単！「ちかくのバス停」から最短3タップでバスの現在地がわかります！

2 ご利用のバス停をタップ

3 「バスはどこ？」をタップ

4 地図上で現在地がわかる！！

(2026. 春) 発行：南城市役所 企画部 交通政策課 TEL 098-917-5386

スマホのホーム画面に「バス予報」を追加する方法 (iPhone/Android)

まずは、二次元バーコードをスキャンして「バス予報」を開いてください

iPhoneの場合

Safariで「バス予報」トップページを開く

Androidの場合

Chromeで「バス予報」トップページを開く

お知らせ 65歳以上の方・障害者手帳をお持ちの方

4月から運賃の支払いが必要になります(運賃半額支援事業)

対象者(市県民)	3月31日まで	4月1日から
65歳以上の方	0円	80円
障害者手帳保持者(1人)	0円	80円
障害者手帳保持者(1人+中高生)	0円	40円

申請書の提出期限は【本人100円/中高生80円】ですが、高齢者は65歳以上および障害者手帳保持者の方で、NバスOKICAを所持している場合、申請書提出が不要となります。

申請のチャージが必要

南城市内でチャージできる場所

- 市役所 南城市役所1階エントランス(市役所専用)
- 市役所 南城市役所2階エントランス(市役所専用)
- 市役所 南城市役所3階エントランス(市役所専用)
- 市役所 南城市役所4階エントランス(市役所専用)
- 市役所 南城市役所5階エントランス(市役所専用)
- 市役所 南城市役所6階エントランス(市役所専用)
- 市役所 南城市役所7階エントランス(市役所専用)
- 市役所 南城市役所8階エントランス(市役所専用)
- 市役所 南城市役所9階エントランス(市役所専用)
- 市役所 南城市役所10階エントランス(市役所専用)

南城市役所1階エントランス(市役所専用)に設置されたNバスOKICAチャージ機でチャージが可能です。

南城市役所1階エントランス(市役所専用)に設置されたNバスOKICAチャージ機でチャージが可能です。

南城市役所1階エントランス(市役所専用)に設置されたNバスOKICAチャージ機でチャージが可能です。

図-6.令和7年度に発行した公共交通だより(上:秋号、下:春号)

(4) 市内小学校における MM 教育の推進

- モデル校である佐敷小学校を中心に、有識者による授業やポスターセッションなどの取組を実施しました。
- 百名小学校、大里小学校においても、外部講師による授業や、乗車体験などを実施しました。
- 上記に加え、船越小学校、馬天小学校、大里南小学校でもNバス車内の飾り付けを実施しました。
- 交通環境学習の取組は、昨年度に引き続き交通エコロジー・モビリティ財団の支援事業を活用して行っており、令和8年度も同事業を活用して、交通環境学習を実施する予定です。



図-7. 佐敷小学校での授業の実施状況(左:名桜大学特任教授 寺本氏、右:バスマップ沖縄主宰 谷田貝氏)



図-8. 佐敷小学校での絵本の読み聞かせの実施状況



図-9. 百名小学校での乗車体験の実施状況

2.2.区分2:公共交通の改善策の検討

(1) 乗降カメラの導入

- 令和8年3月にNバスの利用実態を高い精度で把握するため、車内に乗降カメラを設置しました。
- 今後、乗降カメラのデータより、系統別、便別、バス停別の乗降者数の把握が可能になります。

(2) 決済方法の検討

- 令和8年2月4日(水)より、Nバス全線と、東陽バスの系統37番において、クレジットカード等のタッチ決済を導入しました。
- クレジットカードをスマートフォンに登録すれば、スマートフォンでもタッチ決済ができます。

(3) Nバス及びおでかけなんじいの運行計画の見直しの検討

- 令和7年度はおでかけなんじいのサンエー八重瀬シティへの乗り入れを検討し、令和8年4月1日より乗り入れを開始しています。
- これまでは、サンエー八重瀬シティに面する市内の県道77号線でおでかけなんじいの乗降を行っていましたが、買い物客は県道を横断する必要があることから、安全確保のためサンエー八重瀬シティに乗り入れることになりました。
- 乗り入れにあたっては、店舗、タクシー事業者と調整を行い、タクシー利用と混同しないようにするため、おでかけなんじいは屋上での乗降となっています。



図-10. おでかけなんじいの乗り入れ概要

2.3.区分3:地域公共交通計画策定に向けた取組

(1) 地域と公共交通の現状整理

- 南城市地域公共交通計画の策定にあたり、人口や施設分布、公共交通の運行状況や利用状況等を整理しました。

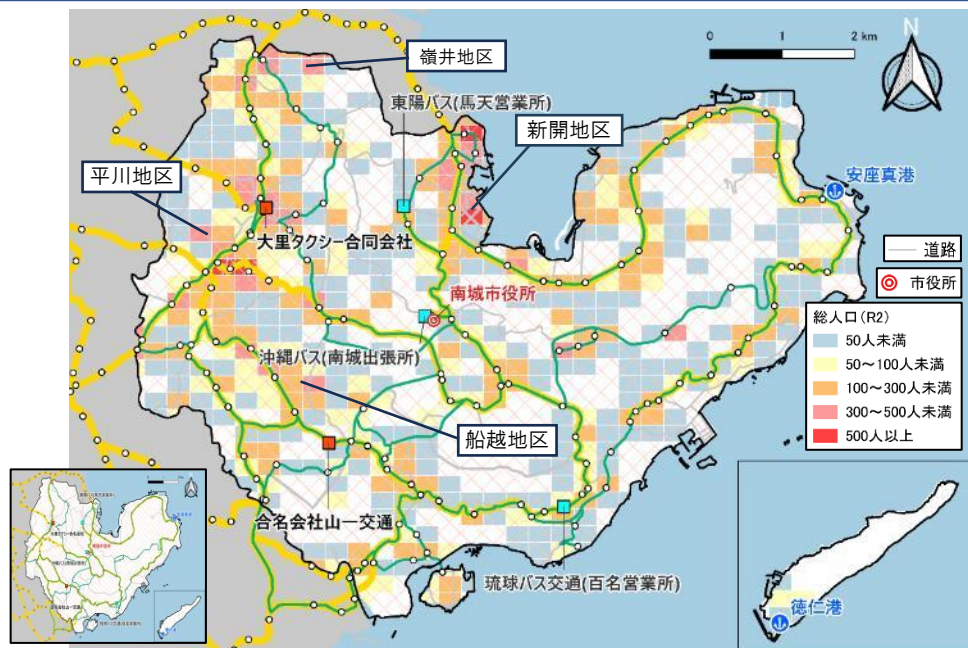


図-11. 人口分布と公共交通網の関係

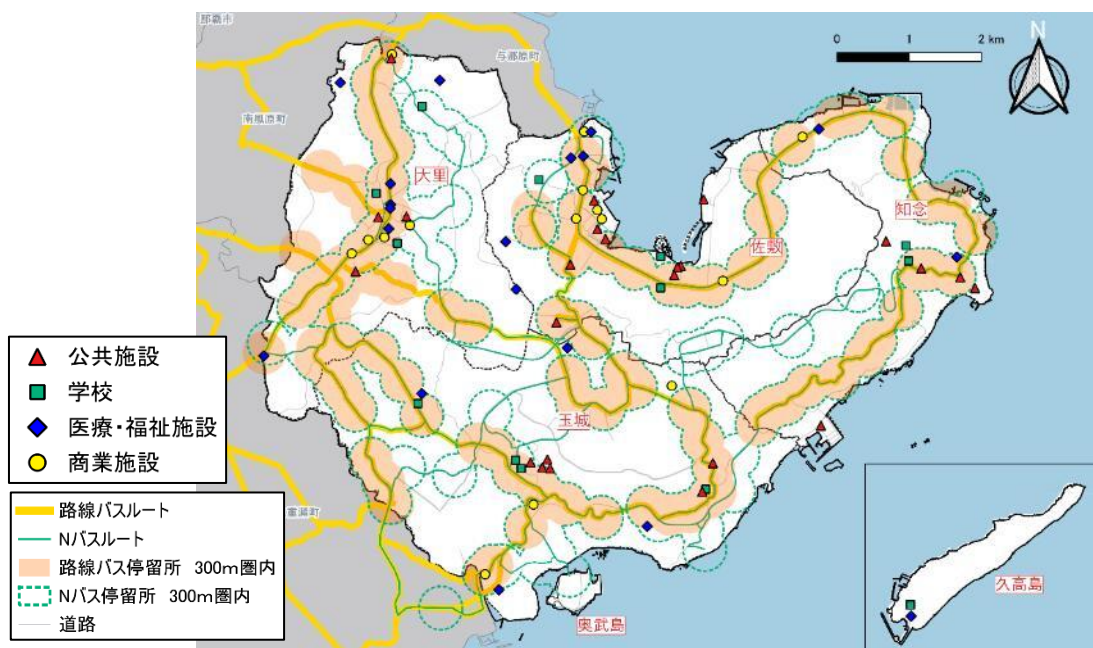


図-12. 施設分布と公共交通網の関係

(2) 交通事業者との意見交換

- 計画策定に向け、交通事業者の抱える課題や、施策に対する意向等を把握するため、座談会を3回実施しました。

表-2.交通事業者との座談会の実施概要

回数	開催日時	参加者	主な議題
第1回	令和7年 7月9日(水) 15:00~17:00 みんなの会議室 那覇泉崎 501 会議室	【バス事業者】 ・琉球バス交通・那覇バス ・沖縄バス ・東陽バス、	・南城市地域公共交通計画策定について ・南城市におけるこれまでの公共交通に関する取組について ・南城市の公共交通の現状と課題について
第2回	令和7年 10月10日(金) 14:00~16:00 南城市役所 3階 庁議防災室	【タクシー事業者】 ・鏡原第一交通 【事務局】 ・南城市交通政策課 ・KCS	・南城市の公共交通のSWOT分析 ・南城市の公共交通の今後の方向性 ※ワークショップ形式で実施
第3回	令和8年 2月20日(金) 14:00~16:00 南城市役所 3階 庁議防災室		・地域交通計画の施策概要について ・計画の推進体制(マネジメント・モニタリングチーム)について ・次年度の取組について



図-13. 交通事業者との座談会の実施状況(左:第1回、右:第3回)

(3) 地域とのコミュニケーションの場づくり

- 計画策定に向け、市民や来訪者の意向を把握、反映するためオープンハウスとワークショップを開催しました。

①オープンハウスの実施

- オープンハウスでは公共交通に関する現状や問題点・課題、取組の実施状況等を整理したパネルを掲示、必要に応じて説明を行いながら、市の公共交通に関する意見を徴取しました。

表-3.オープンハウスの実施概要

回数	開催日時	開催場所	提供情報	アンケート項目
第1回	令和7年 8月10日(日) 10:00~16:00	南城市役所 (Nバス祭りの 会場で実施)	●公共交通に関する現状 ●公共交通に関する問題点・課題 ●公共交通に関する取組の実施状況等	●南城市の公共交通の問題点 ●南城市における公共交通の理想像 ●具体的なアイデア等
第2回	令和7年 10月11日(土) 10:00~16:00	がんじゅう駅		
第3回	令和7年 10月26日(日) 10:00~16:00	イオンタウン 南城大里		
第4回	令和7年 11月16日(日) 12:00~17:00	南城市役所 (南城市まつりの 会場で実施)		



図-14. オープンハウスの実施状況(左:Nバスまつり、右:南城市まつり)

表-4.オープンハウスで収集した主な意見

項目	主な意見
普段の移動で困っている点・不便な点	●バス本数が少なく時間が合わない (南城市古堅・高校生/八重瀬町・10代) ●バス停が遠い・混雑で乗れないなど利用しづらい (浦添市・40代/南城市新開・小学生)
バス路線に関する要望・アイデア	●本数増・運行時間延長・エリア拡大など利便性向上を希望 (南城市古堅・40代/南城市仲程・70歳以上) ●病院・商業施設・南部医療センター・空港などへの直行や乗継改善を希望 (浦添市・40代/南城市大里・小学生)
乗り場・案内等に関する要望・アイデア	●ルート・乗継・時刻が分かりづらく情報不足 (南城市平良・20代/南城市船越・40代) ●乗り方の不安、アプリ情報の古さなどで利用ハードルが高い (与那原町・小1保護者/南城市大里・20代)
運賃に関する要望・アイデア	●運賃への助成があると利用しやすい (八重瀬町・40代) ●決済手段の多様化や高齢者向け回数券があると安心 (北中城村・40代)
将来の移動に関する不安	●免許返納後の移動手段が不安(特に那覇方面) (南城市大城・70歳以上/八重瀬町・60代) ●子どもの将来の通学や家族の送迎負担への不安 (八重瀬町・40代/南城市親慶原・30代)
那覇空港までの直行バスに関する要望・アイデア	●空港直行バスがあれば利用したい (南城市古堅・40代/那覇市・60代) ●P&Rの存在・利用方法が知られていない(周知不足) (南風原町・30代/南城市船越・40代)
その他	●イベントや地域情報と組み合わせた公共交通の利用促進 (糸満市・30代/南城市大里・40代) ●生活密着の移動環境改善(自転車道整備・夜バスなど) (南城市大里・20代/南城市親慶原・30代)

②ワークショップの実施

- ワークショップでは、公共交通の利用促進に向けた取組検討を目的に、公共交通の役割や、問題点、課題等について段階的に検討を進めました。

表-5.ワークショップの開催日時とテーマ

回数	開催日時	テーマ
第1回	令和7年11月15日(土) 14:00~16:00	交通とまちづくりとの関係について知る
第2回	令和7年12月14日(日) 10:00~12:00	よりよい公共交通のための取組を考える
第3回	令和8年1月18日(日) 10:00~12:00	取組の具体的な内容と今後の進め方を考える

表-6.各ワークショップでの実施内容

回数	グループワークのテーマ	アウトプット	ワークショップの内容
第1回	①もし南城市に公共交通がなかったら？ ②南城市の公共交通を診断してみよう	・公共交通の役割 ・交通まちづくりのテーマ	・ワークショップについて説明 ・南城市と公共交通の現状について説明 ・グループワーク①「もし南城市に公共交通がなかったら？」 ・グループワーク②「南城市の公共交通を診断してみよう」
第2回	①よりよい公共交通のための取組を考える	・改善のための取組メニュー	・前回のワークショップの確認 ・取組事例の紹介 ・今回のワーキングについて説明 ・グループワーク「よりよい公共交通のための取組を考えてみる」
第3回	①取組の優先順位と具体的な取組の内容を考える ②取組を進めるための市民や企業、交通事業者、行政等の役割を考える	・取組概要 ・計画の推進体制	・前回のワークショップの確認 ・今回のワーキングについて説明 ・グループワーク①「優先度の高い取組を考える」 ・グループワーク②「取組の具体的な内容を考える」 ・グループワーク③「取組の進め方を考える」



図-15. ワークショップの実施状況

表-7.ワークショップでの主な意見

回数	項目	主な意見
第1回	公共交通の役割	・市民の足として通院・通学・買物など生活の軸を支える存在 ・引きこもり人口の減少や人口流出防止に寄与 ・家計負担の軽減につながる生活基盤 ・地域活性化を支える重要な都市基盤 ・人生の選択肢を広げる基盤となるもの
	交通まちづくりのテーマ	・利用者と便数をいかに増やすかが最大の課題 ・本数不足の解消 ・Nバスと路線バスの接続強化・ダイヤ見直し ・時刻表の改善 ・満員で乗車できない状況への対策
第2回	改善のための取組メニュー	・利用のハードルを下げ、まず「乗ってもらう」仕組みづくり ・便数や接続の最適化による使いやすさの向上 ・満員・遅延対策による定時性・時間信頼性の向上 ・わかりやすさや支払いの簡便化による利用促進 ・通勤・通学に対応した便数確保とNバスとの連携強化、拠点づくり ・運行を支える人材確保と地域連携の強化
第3回	取組概要	・広報強化による知名度向上(おでかけなんじいの増車・増便、ラッピング広告募集、車内サイネージ活用等) ・幼少期からの乗り方教室や遠足・無料デー等の実施など、将来の利用につながる教育・体験機会の創出 ・キャッシュレス決済による支払いの簡便化と利用ハードルの低減 ・バス待ち環境の整備(待機場、商業施設乗り入れ、情報提供充実)による利便性向上 ・高校生の部活・通塾時間に対応したダイヤ見直しやアンケートに基づく運行改善 ・バス無料デーや体験乗車、ツアー企画など「まず乗ってもらう」機会の創出 ・運転手確保・待遇改善(短時間勤務、免許取得補助等)による運行体制の強化
	計画の推進体制	・自治会での周知や乗り方教室の実施など、地域単位での普及啓発 ・学校と連携したアンケート実施、ダイヤ調整、遠足・職場体験での活用 ・企業との連携(ラッピング広告、ネーミングライツ、求人協力、商業施設との相互特典) ・ホテルや観光施設と連携した利用特典の付与 ・市民参加型の取組(無料デー、車お休みデー等)による利用機会の創出 ・行政による運転手確保支援(免許取得補助、待遇改善支援)と継続的な利用状況の検証・見直し

(4) 地域公共交通のあり方の検討

- 地域公共交通計画の策定において、基本方針、公共交通の役割、ネットワークイメージ等を検討しました。

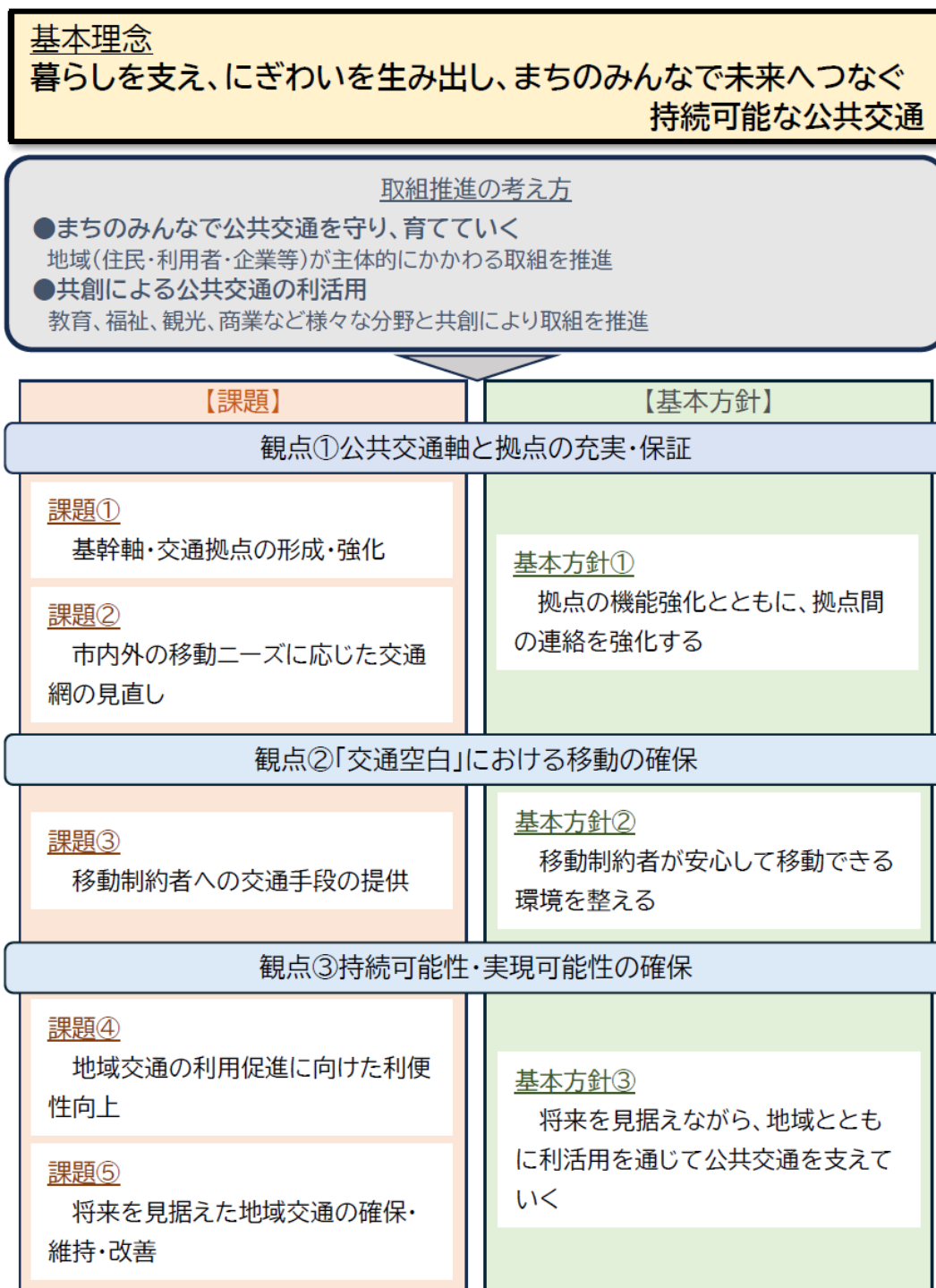


図-16. 地域公共交通計画における基本理念、取組推進の考え方、基本方針

将来

- 市中央部(IC 周辺)の先導的都市拠点(中核地)を核に、公共交通網を形成。
- 南部東道路や那覇空港自動車道を介して、那覇空港などの市外を連絡。
- 中核地(バスターミナル)と那覇市等の市外を路線バスで連絡。
- 大里地域から、市外(隣接自治体)への交通結節点へ N バス等で連絡。
- 市内は、中核地(バスターミナル)と市内の各拠点間を結ぶ N バスで連絡。
- 路線バス、N バスでの対応が難しいエリアの移動は、「おでかけなんじい」が担う。

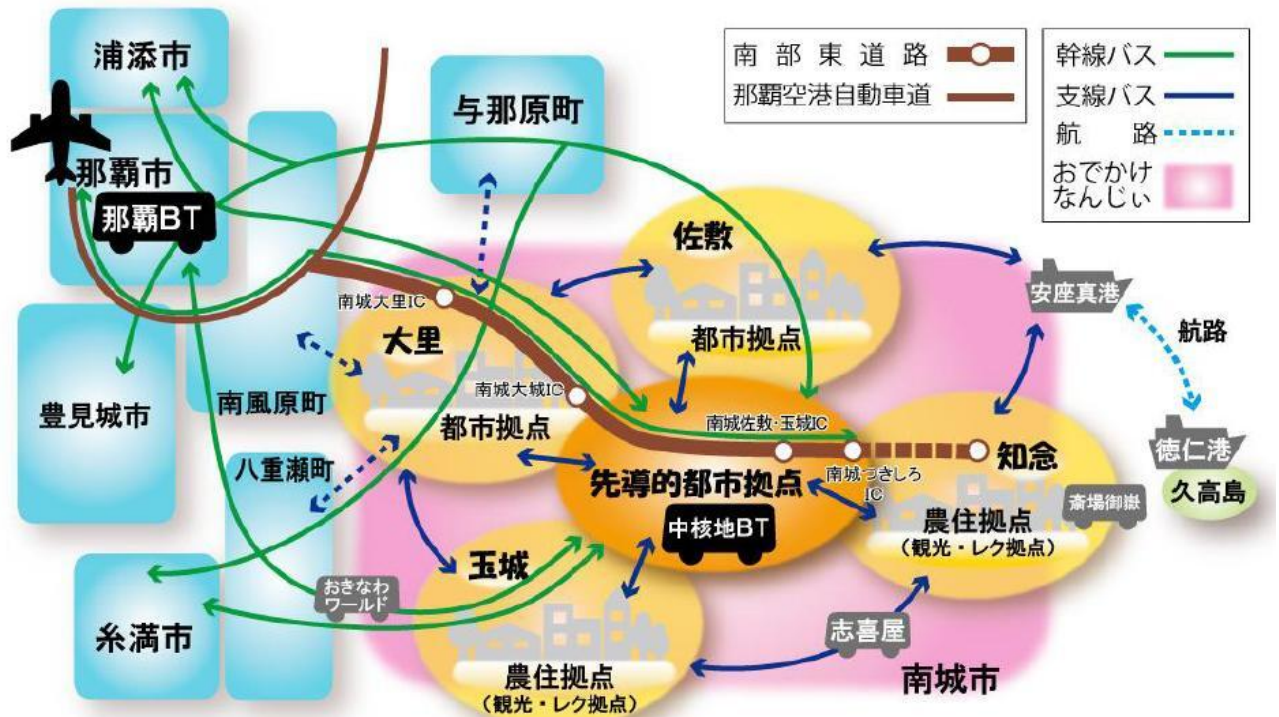


図-17. 地域公共交通計画における将来ネットワークイメージ

表-8.地域公共交通計画における交通手段の役割

区分	交通手段	役割	確保・維持策
地域間交通	路線バス	- 本市と隣接市町村や、那覇市、浦添市、豊見城市、糸満市等中南部の主要都市を連絡する。 - 市外への通勤通学など市民の日常的な広域移動を支えるとともに、観光客の移動手段としての役割も担う。	一部の系統は地域公共交通確保維持事業(地域間幹線系統補助)、または、沖縄県生活バス路線確保対策補助金を活用し、運行を確保・維持
	空港リムジンバス	本市と那覇空港を直接連絡し、市民の移動利便性の向上、観光客の本市への誘客促進を図る。	実証実験を実施し、その結果を踏まえ、民間事業者による本格運行を想定
地域内交通	Nバス	- 南城市役所を拠点に、市内の地域間を連絡する。 - 市民の通勤通学や、買物、通院、余暇活動等の日常生活における移動を支える。 - 交通拠点で路線バスと接続することにより、市外への円滑な移動を支援する。	改善を図りながら、南城市が委託により運行を確保・維持
	おでかけなんじい	- 路線バス、Nバスで対応できない市内の移動を補完する。 - 高齢者等の移動制約者の身近な移動を支える。	地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)を活用し、運行を確保・維持
	航路	- 久高島への唯一の公共交通であり、久高島と安座真港間の移動を担う。 - 住民の生活とともに、観光客の来訪を促し、島の賑わいづくりに寄与する。	地域公共交通確保維持事業(離島航路)を活用し、運行を確保・維持
	タクシー	- 路線バス、Nバス、おでかけなんじいが運行されていない地域や時間帯における移動を支える。 - 路線バスやNバスにない利便性の高い移動サービスを提供する。	交通事業者と連携して、利活用を図ることで、運行を確保・維持
	シェアモビリティ	南城市役所バス停や主要観光施設等にサイクルポートなどの設置を促進することで、来訪者の南城市到着後の近距離移動を支える。	事業者と連携して、サイクルポート等の貸し出し拠点の充実を促進

2.4.区分4:観光交通の充実に向けた検討

(1) 観光二次交通、三次交通の導入検討

- 地域公共交通計画の「施策 1-4 交通拠点等における二次交通の充実」において、シェアサイクル等の導入、カーシェア、レンタカーとの連携、送迎サービスの導入等について検討しました。

表-9.地域公共交通計画における観光二次交通、三次交通に関する施策

施策名	取組名	取組概要
施策 1-4 交通拠点等における二次交通の充実	シェアサイクル等の導入推進	市役所に加え、各拠点や主要な観光施設等へのサイクルポートの設置を推進し、バス停へのアクセス利便性向上を図るとともに、路線バス・Nバスを補完するきめ細かな移動ニーズにも対応します。交通拠点からの二次交通には、シェアサイクルやグリーンスローモビリティなど環境に配慮した移動手段の導入を検討します。
	公共駐車場での P & R (パーク・アンド・ライド) 等の推進	市役所横の公共駐車場における P & R の推進やカーシェア、レンタカーとの連携により、路線バスやNバスの利用を促します。
	交通拠点への送迎サービス等の導入検討	交通拠点からの移動利便性を高めるため、観光施設や宿泊施設等における送迎サービスの導入を検討します。取組の推進にあたっては、民間事業者等と連携します。

(2) 情報発信の強化

- 地域公共交通計画の「施策 3-2 公共交通の利便性向上策の推進」において、公共交通ガイドブックの作成、SNS などデジタルによる情報提供の充実、多言語対応の充実等を検討しました。

表-10.地域公共交通計画における情報発信に関する施策

施策名	取組名	取組概要
施策 3-2 公共交通の利便性向上策の推進	情報発信の充実・強化	必要な人に必要な情報が届くよう、情報発信の充実・強化に取り組みます。公共交通だよりの継続発行や公共交通ガイドマップの作成により、幅広い世代の市民に情報を届けるとともに、Nバスのホームページ・SNS・バスロケーションシステムなど、デジタルによる情報提供も充実させます。また、多言語対応を充実させ、来訪者が公共交通を利用しやすい環境を整えます。

2.5.区分5:交通空白解消に向けた検討

(1) 那覇空港と南城市を結ぶ急行便の実証運行検討

- 南城市役所と那覇空港を連絡するリムジンバスの実証運行を検討し、『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」の「交通空白」解消タイプに応募しています。
- 実証実験では那覇空港まで1日3往復のリムジンバスの運行を予定しています。
- 3年間の実証運行を経て、4年目からは自走化を目指します。



図-18. 令和8年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「交通空白」解消タイプの概要

出典:国土交通省 HP

【沖縄県南城市】空港リムジンバス実証事業

「交通空白」解消タイプ

応募様式1

事業費

事業全体費用：23,117千円
補助対象経費(収入分を除く)：19,542千円

事業主体/運行主体

事業主体：南城市
運行主体：交通事業者A

事業背景・目的

- 令和元年の公共交通再編で市内外の役割分担を明確化した。路線バスの相次ぐ減便により那覇空港・那覇市街へのアクセスに「交通空白」が生じている。
- 市民要望やインバウンド増加を踏まえ、リムジンバスの実証運行により移動利便性確保と観光誘客を図る。

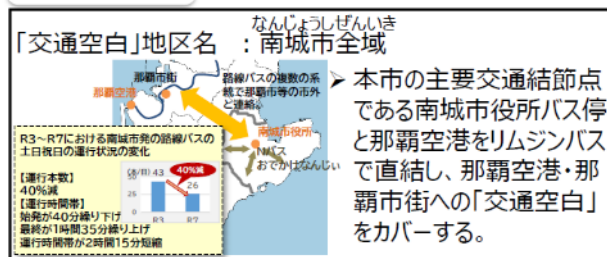
事業概要

交通サービス	空港リムジンバス
運行形態	路線定期運行
法的区分	道路運送法21条2号
運行頻度	金土日月、3往復/日
運賃	1人1,300円(小人650円)
実施内容	路線バスの減便により生じた那覇空港・那覇市街への「交通空白」を補う手段として、南城市役所バス停と那覇空港を直結するリムジンバスを1日3往復運行し、市民の空港アクセス確保と観光客の二次交通充実を図る。

運行期間

令和8年8月～令和9年1月

事業実施地域



事業イメージ



見込まれる事業効果

【定性・定量効果】
6か月2,750人・約350万円、所要時間25分短縮
【「交通空白」への効果】
減便で生じた市外(那覇市)への交通空白を解消

図-19. 空港リムジンバス実証事業の概要

(2) 市内における夜間の移動手段確保の実証検討

- 地域公共交通計画の「施策2-5 『交通空白』解消に向けた取組の検討・実施」において、夜間の移動手段確保に向けた取組を検討することを記載しました。

表-11. 地域公共交通計画における夜間の移動手段確保に関する施策

施策名	取組名	取組概要
施策2-5 「交通空白」解消に向けた取組の検討・実施	夜間の移動手段の確保に向けた取組検討	夜間はタクシーの配車が困難な状況があり、移動手段の確保が課題となっています。多様な選択肢を視野に入れながら、事業者等と連携し、夜間の移動手段確保に向けた取組を進めます。